

工芸デザイン学科の学生と教員が 新設納骨堂の“ご本尊”を制作 －学生のデザインが、地域の新たな祈りの場をつくる－

東北芸術工科大学（山形市／学長 中山ダイスケ）工芸デザイン学科の学生 2 名（4 年生）と教員が、宗教法人 隆勝寺（山形市／代表役員 東谷智彦）からの委託を受け、隆勝寺の新しい納骨堂のご本尊となるモニュメントをデザインし、その制作を行いました。納骨堂は 9 月 10 日に開堂され、工芸の技と創造力によって新しい祈りの場が生み出されました。

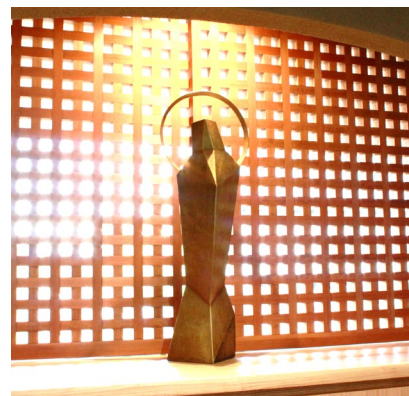
本プロジェクトは、隆勝寺が室内型の納骨堂を新設するにあたり、仏像の造形を大切にしつつ「神聖さを持つ新しい祈りのかたちを作りたい」というご住職の思いを受け、同学科の学生と教員がご本尊のデザインと制作に取り組んだものです。その過程では、阿弥陀如来像に込められた思いや由来を調査し、理解を深めた学生が、阿弥陀如来像が持つ意味や造形の美しさ、その背景にある人々の祈りに触れ、その素晴らしさを改めて感じ、作品制作へとつなげました。ご本尊は、伝統的な工芸技法を用いて制作され、真鍮と桂を素材とした高さ約 70 cm の新たな祈りの対象として形になりました。

学生が持つ感性と日ごろの学びで得た知識や技術を生かし、新たな祈りの場づくりに挑戦した本取り組みを多くの方にお知らせしたく、取材・広報をお願い申し上げます。

※ ご取材いただける場合、本学にて隆勝寺及び学生・教員との日程調整を対応いたします。



プレゼンテーションの様子



「ご本尊」と設置した様子

■本件に関する問い合わせ先

東北芸術工科大学 地域連携推進課（担当:織田）
TEL：023-627-2091（平日 9:00～17:00）